

報告第9号

さかもと温泉センター株式会社経営状況報告書

自	令和	6年	4月	1日
至	令和	7年	3月	31日

地方自治法第243条の3第2項の規定により、さかもと温泉センター株式会社の経営状況を説明する書類をここに提出します。

令和7年10月3日提出

八代市長 小 野 泰 輔

目 次

令和6年度 事業報告書	．．．．．	P 1 ～ P 6
（1）営業報告	．．．．．	P 2 ～ P 4
（2）株式の状況等	．．．．．	P 5 ～ P 6
令和6年度 決算報告書	．．．．．	P 7 ～ P 1 3
（1）貸借対照表	．．．．．	P 8
（2）損益計算書	．．．．．	P 9
（3）販売費及び一般管理費	．．．．．	P 1 0
（4）株主資本等変動計算書	．．．．．	P 1 1
（5）個別注記表	．．．．．	P 1 2
（6）監査報告書	．．．．．	P 1 3
令和7年度 事業計画書	．．．．．	P 1 4 ～ P 2 0
（1）事業計画	．．．．．	P 1 5 ～ P 1 8
（2）収支予算	．．．．．	P 1 9 ～ P 2 0

事業報告書

第 2 9 期

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 3 1 日

さかもと温泉センター株式会社

熊本県八代市坂本町川嶽 1 0 9 1 番地

事業報告

令和6年度においては、令和2年7月の豪雨災害から4年が経ち、町内各所で復旧工事が進められているものの、いまだ国道219号線の交通規制は続いており、町外からの利用者はわずかな増加に留まりました。

また、電気料金や原材料の高騰、さらには最低賃金も上昇しており、経費に大きく影響を受けました。

全体の売上総利益は27,185,677円で、対前年度比較1,048,528円の増となりましたが、販売費及び一般管理費は、光熱費や資材の高騰が影響し97,271,541円となり、対前年度比較3,531,907円の増となりました。

特に今期においては、売上は増加しているものの、一般管理費の増加が大きく、営業利益が減少しました。

しかし、さかもと館のかさ上げ工事に伴う、移転のための休業補償が国から支払われたことにより、当期純利益は結果的に5,792,420円の黒字となりました。

今後も物価の上昇や町内においては復旧工事に伴う道路事情等、厳しい状況が暫くは続きますが、社員一丸となり経費削減に努め、経営の安定化を目指して参ります。

『球麗温』

クレオンでは、団体客の利用が徐々に増えてきており、レストランの売上増につながりました。

特に町外から団体で利用されるお客様のリピートが増えてきており、利用者は緩やかな回復傾向にあります。

また、ホームページを刷新したことにより、イベント情報や休館日の告知がスムーズに行えるようになり、サービス向上にもつながりました。

地域においては、坂本住民自治協議会を始め各種団体とも連携を図り、町内のイベントにも積極的に参加・協力し、地元密着の施設運営に努めました。

また、八代市主催の元気体操は、利用者の増減はあるものの、週1回の定期開催により、高齢者の健康維持に貢献することが出来ました。

しかし、経営状態は依然厳しく、一昨年から続く、燃料費（A重油）電気代の価格高騰が経費に大きく影響しました。

売上高は 26,542,902 円(対前年 4,711,734 円増)で、入館者数は 30,252 人(対前年 766 人増)でした。販売費及び一般管理費は 61,986,423 円(対前年 7,647,925 円増)となり、当期純利益は△5,757,049 円(対前年 2,406,958 円減)となりました。

利用者数は少しずつ増えてはいるものの、温泉施設を取り巻く環境は厳しく、今後は更に気を引き締め、他の類似施設との差別化を図り、売上増加・経費削減に努めて参ります。

『憩いの家』

憩いの家は地元農家と連携し、新鮮野菜やお米の販売にも積極的に取り組みました。

また、憩いの家の広場を地元のグランドゴルフ愛好家の皆さんや、保育園の活動に利用していただき、健康推進と地元貢献に努めました。

売上高は 3,673,810 円(対前年 328,994 円増)、入館者数は、15,170 人(対前年 878 人増)となりました。経営面では光熱費等の高騰が影響し、販売費及び一般管理費 13,902,859 円(対前年 343,142 円増)となり、当期純利益は△263,661 円(対前年 586,381 円増)となりました。

『広域交流センターさかもと館』

さかもと館は令和 5 年 4 月以降、復興商店街に店舗を移し、商品構成を縮小して営業を継続していましたが、荒瀬地区のかさ上げ工事に伴い、令和 7 年 1 月末で休業しました。

令和 6 年度は、道路事情の不便さから来館者数が伸び悩む中、町外への外販を積極的に行い売上増に努め、八代市役所 1 階での販売会や県庁地下販売会も実施しながら地元特産品の販売及びアピールに注力しました。

売上高は 8,585,528 円(対前年 3,190,005 円減)、入館者数は、12,739 人(対前年 6,135 人減)となりました。

販売費及び一般管理費 9,193,923 円(対前年 5,431,706 円減)となりましたが、かさ上げ工事に伴う休業に対し、国から補償が支払われたため、当期純利益は 10,838,729 円(対前年 13,408,288 円増)となりました。

『さかもと八竜天文台』

さかもと八竜天文台は八代市から天文台運営についての業務委託を受けております。

季節ごとの天文イベントや天文現象に伴う観望会を行うことで、天文学の普及と啓発に貢献しました。

また、昨年度は市内の小学校理科部会からの依頼により出張理科を行い、子供たちの学習意欲向上に努めました。さらに外部からの要請による出張プラネタリウムも各地で行い、天文台の知名度向上につなげることができました。

入館者数は 1,943 人（対前年 744 人増）、販売費及び一般管理費 12,188,336 円（対前年 982,545 円増）となり、当期純利益は、974,401 円（対前年 256,311 円増）となりました。

『さかもと温泉センター株式会社』全体

会社全体としまして、売上総利益は 27,185,677 円（対前年度比較 1,048,528 円の増）、販売費及び一般管理費は 97,271,541 円（対前年度比較 3,531,907 円の増）となり、施設管理費を含む当期純利益は 5,792,420 円（対前年 11,844,022 円の増）、当期繰越利益剰余金は △81,309,768 円となりました。

当社は、球麗温、憩いの家、さかもと館の 3 施設を管理運営するために設立された会社であります。

先の見えない不安定な世界情勢や物価高騰の影響が今後も懸念される中、坂本町は交通事情の不便さも重なり、厳しい状況が暫くは続きます。

しかし、復旧・復興の槌音は着実にきこえており、復興に向けての形も徐々に見えてきました。

さかもと館の新店舗も、令和 9 年の夏には完成予定とされています。

今後も様々な状況に応じた対策・対応を全力で行い、地域の皆様に安らぎ、愛される施設運営を目指し、従業員一同、努力して参りますので、ご理解とご厚情を賜りたく切にお願い申し上げます。

1. 株式の状況

- I. 会社が発行する株式の総数 4, 0 0 0 株
 II. 発行済み株式の総数 1, 7 2 9 株
 III. 期末株主数 6 6 名
 IV. 主たる団体及び法人株主 (20株以上、但し個人を除く)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
八 代 市	1200 株	69.40 %
日 本 製 紙 株 式 会 社	60 株	3.47 %
八代地域農業協同組合	50 株	2.89 %
八 代 森 林 組 合	50 株	2.89 %
株 式 会 社 肥 後 銀 行	20 株	1.16 %
そ の 他	349 株	20.19 %
合 計	1,729 株	100.00 %

2. 従業員の状況

令和7年3月31日現在

I. クレオン (単位：人)

摘 要 性 別	職 員	パ ー ト	合 計
男	2	3	5
女	2	4	6
合 計	4	7	11

II. さかもと館 (単位：人)

摘 要 性 別	職 員	パ ー ト	合 計
男	0	0	0
女	0	0	0
合 計	0	0	0

III. 憩いの家 (単位：人)

摘 要 性 別	職 員	パ ー ト	合 計
男	1	2	3
女	0	0	0
合 計	1	2	3

Ⅳ. 八竜天文台・管理棟 (単位：人)

性 別 \ 摘 要	職 員	パ ー ト	合 計
男	1	0	1
女	2	0	2
合 計	3	0	3

3. 取締役及び監査役 令和7年3月31日現在

役 職 名	氏 名
代 表 取 締 役 社 長	福 島 誠 治
取 締 役 副 社 長	鶴 堀 直 人
取 締 役	山 住 昭 二
取 締 役	續 協 典
取 締 役	中 村 重 之
監 査 役	谷 口 信 吾
監 査 役	橋 口 尚 登

前記の通り相違ありません。

令和7年5月28日

熊本県八代市坂本町川嶽1091番地
さかもと温泉センター株式会社
代表取締役社長 福島 誠治

決算報告書

第 2 9 期

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 3 1 日

さかもと温泉センター株式会社
熊本県八代市坂本町川嶽 1 0 9 1 番地

貸 借 対 照 表

令和 7年 3月31日 現在

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 18,282,435】	【流 動 負 債】	【 12,963,013】
現 金	1,316,411	買 掛 金	556,589
預 金 合 計	15,672,533	未 払 金	7,084,961
商 品	512,533	未払金(受託)	707,466
貯 蔵 品	344,922	未 払 法 人 税 等	208,500
前 渡 金	20,360	前 受 金	99,800
未 収 入 金	415,676	預 り 金	44,305
【固 定 資 産】	【 5,574,508】	預 り 入 湯 税	165,800
[有 形 固 定 資 産]	[5,432,574]	短期リース債務	1,594,092
付 属 設 備	24,149	未 払 消 費 税 等	2,501,500
構 築 物	13,627	【固 定 負 債】	【 4,254,698】
機 械 装 置	7	長期リース債務	4,254,698
車 両 運 搬 具	3	負 債 合 計	17,217,711
器 具 備 品	9	純 資 産 の 部	
リ ー ス 資 産	5,350,851	【株 主 資 本】	【 6,639,232】
一 括 償 却 資 産	43,928	資 本 金	86,450,000
[無 形 固 定 資 産]	[141,934]	[利 益 剰 余 金]	[△79,810,768]
電 話 加 入 権	141,934	利 益 準 備 金	1,499,000
		(その他利益剰余金)	(△81,309,768)
		繰越利益剰余金	△81,309,768
		純 資 産 合 計	6,639,232
資 産 合 計	23,856,943	負債・純資産合計	23,856,943

損 益 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売上 (飲食物)	15,171,411	
売上 (土産物)	9,709,659	
売上 (使用料)	698,380	
売上 (入浴料)	13,235,330	
売上 (天文台)	183,495	
売上 (宿泊棟)	16,800	39,015,075
【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	753,902	
仕入 (厨房)	7,392,741	
仕入 (土産)	4,127,082	
仕入 (天文台)	61,620	
仕入 (宿泊棟)	6,586	
合 計	12,341,931	
期末商品棚卸高	512,533	11,829,398
売上総利益		27,185,677
【販売費及び一般管理費】		97,271,541
営業損失		70,085,864
【営業外収益】		
受取利息	11,397	
業務受託収入	63,408,225	
雑収入	12,891,574	76,311,196
【営業外費用】		
雑損失	31,709	31,709
経常利益		6,193,623
【特別利益】		
固定資産売却益	55,440	55,440
【特別損失】		
固定資産除却損	246,400	246,400
税引前当期純利益		6,002,663
法人税、住民税及び事業税		210,243
当期純利益		5,792,420

販売費及び一般管理費

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

(単位: 円)

科 目	金 額	
給 料 手 当	32,250,701	
賞 与 手 当	786,078	
退 職 金	1,441,011	
雑 給	8,084,406	
法 定 福 利 費	5,301,664	
福 利 厚 生 費	501,942	
広 告 宣 伝 費	53,288	
運 賃	221,414	
旅 費 交 通 費	99,328	
接 待 交 際 費	33,345	
車 両 費	355,414	
通 信 費	551,951	
水 道 料	707,400	
租 税 公 課	4,382,450	
消 耗 品 費	2,066,448	
事 務 用 品 費	81,768	
修 繕 費	700,510	
保 険 料	687,590	
支 払 手 数 料	176,452	
減 価 償 却 費	1,969,728	
燃 料 費	18,966,935	
光 熱 費 (電 気)	11,319,828	
光 熱 費 (ガ ス)	418,680	
研 修 費	94,916	
衛 生 費	256,788	
保 守 管 理 料	2,976,216	
リ ー ス 料	202,323	
新 聞 図 書 費	111,497	
諸 会 費	116,000	
雑 費	2,355,470	97,271,541
合 計		97,271,541

株主資本等変動計算書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日 (単位: 円)

株主資本										(単位：円)
資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	純資産合計
	資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計			
					任意積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	86,450,000				1,499,000		△87,102,188	△85,603,188	846,812	846,812
当期変動額										
当期純利益							5,792,420	5,792,420	5,792,420	5,792,420
当期変動額合計							5,792,420	5,792,420	5,792,420	5,792,420
当期末残高	86,450,000				1,499,000		△81,309,768	△79,810,768	6,639,232	6,639,232

個 別 注 記 表

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法、但し、平成10年4月1日以降に取得した建物並びに

平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法。

無形固定資産・・・定額法

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額

13,979,835円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済普通株式）

1,729株

当期増加株式数（発行済普通株式）

0株

当期減少株式数（発行済普通株式）

0株

当期末株式数（発行済普通株式）

1,729株

決議事項② 令和7年度 第29期 監査報告について

監 査 報 告 書

令和7年5月8日

さかもと温泉センター株式会社

代表取締役社長 福島 誠治 殿

監査役 谷口 信吾



監査役 橋口 尚登



私ども監査役は、令和6年4月1日から令和7年3月31日
までの第29期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告書、
株主資本等変動計算書、個別注記表に関する議案及び添付明細書を
監査した結果、適法かつ正確であると認めます。

事業計画書

第30期

自 令和 7年4月 1日
至 令和 8年3月31日

さかもと温泉センター株式会社

熊本県八代市坂本町川嶽1091番地

令和7年度

年間事業実施計画(クレオン)

NO.1

事業名	目的・内容等	実施時期
『クレオン体操教室』(仮称)【重点】	目的:介護予防の運動促進 内容:送迎、軽運動、温泉入浴をリンクさせて健康づくりを促進する 八代市長寿支援課、第六包括センターと連携し実施する ※各地域のいきいきサロン集いの場をクレオンでも開催していただく	通年
『クレオン弁当の販売』【重点】	目的:工事業者への販売推進 内容:町内の復旧復興工事に携わる工事業者へ弁当の配達販売 ベビーユーザーには温泉券を配布し、球鬚温での入浴・食事を推進する	通年
『クレオン会席パック』【重点】	目的:来館者増とクレオン亭利用促進 内容:通過儀礼のお祝い、法事などの食事会を促進 3,000円～5,000円の会席(温泉・送迎付き)	通年
『ピアノコンサート』	目的:記念品としての展示及び若年層の集客 内容:旧藤本小学校のピアノを活用して、定期的にミニコンサートを開催 来館者にも気軽に弾けるストリートピアノとして楽しんでいただく	通年
スタンプカードの発行 (スタンプ割引)	目的:利用頻度促進 内容:来館者にカードを発行し、1回の入浴及び食事にスタンプを押印する 10個集めると、次回の入浴が無料となる ※レストラン利用者にもレジにてスタンプを押印	通年
『やつしろ元気体操教室』	目的:高齢者の健康促進 内容:市主催の事業を当館で実施されることから、 送迎、入浴をセットで月2回実施する 料金年間6,000円(半年3,000円)で食事は別途追加料金	通年 (毎月2回)
『クレオンパック』	目的:来館数増 内容:湯つくりパック 2,300円、グルメパック 2,800円、 グランドゴルフパック 2,800円(グランドゴルフは憩いの家のグラウンド) 3種類のパックで内容の充実(全て入浴、送迎、食事付)	通年
お客様感謝デー	目的:利用頻度促進 内容:毎月10日をクレオンの日、毎月26日を風呂の日とし、 クレオンの日は来館者に200円割引券を発行。 風呂の日は割引料金(大人300円・子供200円) その他の割引:誕生月・JAF会員・シルバー人材センター会員	通年
レストラン	目的:クレオン亭の利用促進 内容:新メニューの開発、定期的に商品の入替を行う ・ジビエ料理(猪・鹿肉等の料理) 山菜料理(坂本町の食材使用) ・月替わりおすすめメニューの販売 ・温泉と食事がセットになった「クレオンセット」の販売(入浴料+料理を1,350円で提供・おかずは3種類の中から選択可) ・季節の催し物料理提供 (例)お雛様メニュー等 ・夏限定メニュー(ざるそば・ざるうどん等)	通年 6月～10月
文化作品展示等	目的:来館数増と住民の交流 ・書道、絵画、写真など愛好家住民の作品展 ・夏休み親子八代彦一物語お話し会 ・小中学生作品展示	通年 8月 2月

令和7年度

年間事業実施計画(クレオン)

NO. 2

事業名	目的・内容等	実施時期
サービス・販売	目的: 利用頻度促進 内容: ・八代市役所(2回/月)、熊本県庁(1回/月)への販売会を実施 ・売店のニーズ度アップ(野菜・果物・お土産等の見直し強化) ・農事組合法人なの花村の加工食品の販売(梅干し・漬物・クッキー) ・家族風呂の利用促進の為、子供向けおもちゃを用意する ・周遊チラシの配布(クレオン・憩いの家・天文台が記載されたマップを配布して他施設への来館を促す) ・家族風呂利用推進 家族4人以上200円割引 ・季節ごとの割引制度導入 (例) 桃の節句・端午の節句・母の日・父の日・敬老の日	随時
回数券販売強化	目的: 利用頻度促進 内容: 回数券を全職員で営業販売。	通年
営業強化計画	・各地域振興会と連携し、振興会行事(団体)での球麗温利用を推進 ・クレオン法事パック推進 ・市政協力員を中心とした地域行事への営業 ・お盆帰省客を対象に駅・観光案内所への営業 ・老人会、いきいきサロン代表者への営業 ・健康づくり事業PR・クレオンパック等紹介強化 ・忘・新年会パックの営業推進 ・利用された団体の代表者を中心に営業 ・花見シーズン営業(花見弁当)	通年 7月 7月 8月 9月 12~1月 3月
イベント	目的: 集客増 内容: 館内にて集客増に繋がるイベントの開催 ・こどもの日、五月人形の展示・小人入浴料無料・お菓子のつかみ取り大会 ・紫陽花祭り(紫陽花の切り花で館内を装飾) ・坂本ふるさとまつり出店 ・クリスマス(お子様へお菓子のプレゼント) ・冬至の日(ゆず湯提供) ・お雛祭り(雛人形の展示、お雛ランチの販売)子ども入浴料無料	5月 5月 11月 12月 12月 3月
情報発信計画	・情報誌(NAINAI・かじゅめる・やつしろプレス・温泉博士)等での情報発信 ・HP、facebookによるイベント情報発信 ・FM八代による情報発信 ・ジビエ料理(猪・鹿肉等の料理) 山菜料理(坂本町の食材使用) ・月替わりおすすめメニューの販売	随時
その他	目的: 社内改革 内容: 社内会議の実施 ・全従業員の意識改革・サービス接客マナー向上勉強会 ・クレオン、憩いの家、天文台との業務推進会議の開催	随時

令和7年度

年間事業実施計画(憩いの家)

事業名	目的・内容等	実施時期
スタンプカードの発行 (スタンプ割引) 【重点】	目的: 入浴利用頻度促進 内容: 来館者にカードを発行し、1回の来館にスタンプを押印 ・10個集めると次回の入浴が無料 ・毎週金曜日はスタンプ2倍(集客率の少ない金曜日に設定) ・売店で1,000円以上お買上毎に1個押印	通年
サービス・販売 【重点】	目的: 利用頻度の促進 内容: 農事組合法人なの花村のお米や加工食品の販売 ・地元農家からのお米、野菜の仕入れ販売 ・毎月26日(風呂の日)の入浴料の割引	随時
営業 (各介護福祉施設、老人会)	目的: 高齢者の健康促進 内容: デイサービスの方々のリハビリをかねての入浴体験案内や各福祉施設への営業(月曜日限定) ・花見、紅葉時期を狙った老人会への営業強化 ・グランドゴルフ利用推進による営業強化	随時
営業 (新規顧客・リピーター集客)	目的: 入浴利用頻度促進 内容: 農事組合法人「鶴喰な花村」が開催するイベントに協力し、市内外からの集客を目指す。 また、その際 憩いの家のPRを行い、通常時でのリピーターの増加に繋げる	随時
グラウンド周辺整備	目的: グランドゴルフ愛好会の入浴利用頻度促進 内容: グランドや周辺清掃等をし、ゲートボールやグランドゴルフ愛好者の利用頻度を高める ・施設内の桜等の景観美化の推進	2ヶ月に1回
イベント等の参加	目的: 地域住民との交流 内容: 住民自治主催のイベントや小中学校の遠足時に協力 ・地元の華道作品展・書道展・写真展 ・やっちゃんドラゴントレイルのイベントに協力	随時

令和7年度年間事業実施計画(天文台)

事業名	目的・内容等	実施時期
営業強化	・できるだけ早急に人員体制を整える。	夏休みまでを目安
	・入館時にパンフレットと同時にアンケートを渡す。(回収率向上のため特典ステッカーあり)	通年
	・館内イベントの強化及び館内展示物や配布物の充実化→出張に関しては人員体制が確立するまで八代市郡の教育機関からの依頼のみ対応し、館内業務に影響がでない範囲で行う。	通年
入館者増	・告知活動を強化し天文台の認知度を高める。(季刊誌かじゆめるへの寄稿/FMやつしろへの出演)	通年
	・SNSを使ってこまめにイベント等の告知をする。	通年
	・地域イベントへの参加、地域施設との連携を取り、地域住民への認知度を高める。	通年
宿泊利用増	・さかもと温泉センターとの連携(入浴券の配布・ポスター掲示等)	通年
公園内設備・整備	・公園内草刈り	適宜
	・枝の剪定・伐採、眺望の確保	適宜
	・スズメバチの巣対策	夏季
	・桜の木のてんぐ巣病対策	冬季
施設の改修・修理	・アリ・カメムシ・ヤモリ対策	春季から秋季
	・窓ガラス清掃	4月～5月
	・宿泊施設備品整備	通年
	・宿泊施設網戸の点検・補修	～7月
イベント	イベントを通して天体や宇宙に興味をもってもらう。	
	令和7年度に天文台において予定しているイベント名	
	・春の星座観望会	4月28日(土)～4月29日(火・祝)
	・ゴールデンウィークは八竜天文台をたのしもう!	5月3日(土・祝)～5月6日(火・祝)
	・大人のプラネタリウム	5月下旬～6月30日(月)
	・七夕観望会	7月7日(月)
	・スター・ウィーク～星空に親しむ週間～	8月1日(金)～8月7日(木)
	・夏休みこども工作教室	8月
	・中秋の名月観望会	10月6日(月)
	・土星の環観望会	11月21日(金)～11月24日(月)
	・全国一斉『熟睡プラ寝タリウム』	11月23日(日・祝)
	・ふたご座流星群観望会	12月12日(金)～12月14日(日)
	・冬の星座観望会	1月10日(土)～1月12日(月・祝)
	・バレンタイン観望会	2月14日(土)
	・皆既月食観望会	3月3日(火) 臨時開館
	・春分の日太陽観望会	3月20日(木・祝)
	令和7年度に参加予定のイベント名	
	・坂本ふるさとまつり	11月
	・まなびフェスタやつしろ(生涯学習課イベント)	12月

第30期収支予算書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

(単位:千円)

科 目	令和6年度(当期)予算		令和5年度(前期)決算		対前期増減	対前期比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
【売 上 高】	37,704	100.0	38,999	100.0	△ 1,295	96.7
売 上 (飲 食 物)	16,565	43.9	15,172	38.9	1,393	109.2
売 上 (土 産 物)	5,082	13.5	9,710	24.9	△ 4,628	52.3
売 上 (使 用 料)	789	2.1	698	1.8	91	113.0
売 上 (入 浴 料)	15,060	39.9	13,236	33.9	1,824	113.8
売 上 (天 文 台)	190	0.5	183	0.5	7	103.8
【売 上 原 価】	9,030	100.0	11,829	100.0	△ 2,799	76.3
期首商品棚卸高	503	5.6	753	6.4	△ 250	66.8
仕 入 (厨 房)	7,627	84.5	7,385	62.4	242	103.3
仕 入 (物 産)	1,289	14.3	4,135	35.0	△ 2,846	31.2
仕 入 (天 文 台)	85	0.9	61	0.5	24	139.3
期末商品棚卸高	484	5.4	512	4.3	△ 28	94.5
売 上 総 利 益	28,674		27,170		1,504	105.5
【販売費及び一般管理費】	88,193	100.0	97,272	100.0	△ 9,079	90.7
役 員 手 当	0	0.0	0	0.0	0	0.0
給 料 手 当	29,503	33.5	32,251	33.2	△ 2,748	91.5
賞 与 手 当	780	0.9	785	0.8	△ 5	99.4
退 職 金	0	0.0	1,441	1.5	△ 1,441	0.0
雑 給	7,603	8.6	8,085	8.3	△ 482	94.0
法 定 福 利 費	4,503	5.1	5,302	5.5	△ 799	84.9
福 利 厚 生 費	439	0.5	503	0.5	△ 64	87.3
広 告 宣 伝 費	69	0.1	53	0.1	16	0.0
運 賃 賃 料	5	0.0	221	0.2	△ 216	2.3
旅 費 交 通 費	100	0.1	99	0.1	1	101.0
接 待 交 際 費	28	0.0	34	0.0	△ 6	82.4
車 輜 費	308	0.3	355	0.4	△ 47	86.8
通 信 費	438	0.5	551	0.6	△ 113	79.5
水 道 料	656	0.7	706	0.7	△ 50	92.9
租 税 公 課	3,667	4.2	4,382	4.5	△ 715	83.7
消 耗 品 費	1,997	2.3	2,066	2.1	△ 69	96.7
事 務 用 品 費	60	0.1	82	0.1	△ 22	73.2

第30期収支予算書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

(単位:千円)

科 目	令和6年度(当期)予算		令和5年度(前期)決算		対前期増減	対前期比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
		%		%		%
修繕費	429	0.5	700	0.7	△ 271	61.3
保険料	580	0.7	688	0.7	△ 108	84.3
支払手数料	176	0.2	176	0.2	0	100.0
減価償却費	1,370	1.6	1,970	2.0	△ 600	69.5
燃料費	18,992	21.5	18,967	19.5	25	100.1
光熱費(電気)	10,579	12.0	11,320	11.6	△ 741	93.5
光熱費(ガス)	430	0.5	419	0.4	11	102.6
研修費	98	0.1	95	0.1	3	103.2
衛生費	227	0.3	257	0.3	△ 30	88.3
保守管理料	2,904	3.3	2,976	3.1	△ 72	97.6
リース料	202	0.2	202	0.2	0	100.0
新聞図書費	71	0.1	111	0.1	△ 40	64.0
会議費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
諸会費	77	0.1	116	0.1	△ 39	66.4
クリーニング料	3	0.0	3	0.0	0	0.0
雑費	1,899	2.2	2,356	2.4	△ 457	80.6
営業利益	△ 59,519		△ 70,102		10,583	
【営業外収益】	61,814	100.0	76,310	100.0	△ 14,496	81.0
受取利息	6	0.0	10	0.0	△ 4	0.0
雑収入	61,808	100.0	76,300	100.0	△ 14,492	81.0
【営業外費用】	23		32		△ 9	71.9
雑損失	23		32		△ 9	71.9
経常利益	2,272		6,176		△ 3,904	
法人税等	210		400		△ 190	52.5
当期純利益	2,062		5,776		△ 3,714	